

第46回川崎市小学校 学校給食教育研究協議会



総合教育センター

2023. 1. 18



川崎市立総合教育センター
カリキュラムセンター

1. テーマ設定の理由

今の時代...

栄養について

多くの情報を得ることができる

あまり深く考えずに食事をしている

好きなものを

好きなだけ食べることができる





明治22年(1889年)

山形県鶴岡町の私立忠愛小学校で**貧困児童を**
対象に無料で学校給食を実施する。これが我
が国の学校給食の起源とされる。

写真提供元「独立行政法人日本スポーツ振興センター」



昭和17年(1942年)戦時中



昭和32年(1957年)



昭和38年(1963年)



平成15年(2003年)

そして...



学校給食の目標

「学校給食法」が改正された（平成27年4月1日法律第23号）. 実に56年ぶりの大改正です。施行は平成27年4月1日です。
この法律の第2条に「学校給食の目標」として「7つの目標」が掲げられています。目標達成のため学校給食活動の一環の努力が求められています。



学校給食の目標

学校給食法改正
H21年4月1日試行

↓
学校給食の7つの目標
が挙げられた

①適切な栄養の摂取による**健康の保持増進**を図ること。

②日常生活における食事について正しい理解を深め、健全な食生活を営むことができる判断力を培い、及び**望ましい食習慣を養う**こと。

③**学校生活を豊かに**し、明るい社交性及び協同の精神を養うこと。

④食生活が自然の恩恵の上に成り立つものであるということについての理解を深め、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養うこと。

⑤食生活が食にかかわる人々の様々な活動に支えられていることについての理解を深め、勤労を重んずる態度を養うこと。

⑥我が国や各地域の優れた伝統的な食文化についての理解を深めること。

⑦食料の生産、流通及び消費について、正しい理解に導くこと。

学級活動（2）の指導の充実



現在の自分を見つめ、自己の成長を考える 学級活動(2)

資料を効果的に活用し、日々の生活の向上のために、児童一人一人が自らの生活や学習の目標を決め、その実現に向けて取り組むことができるようにします。

事前の活動

本時の活動

事後の活動

「生活や学習への適応と自己の成長及び他者との関わりを大切に」(第4学年)を例に

事前の活動

アンケート
しつじゆ

○友だちから仲間外れやむしをされたら、がげ口を言われたりしたことがありますか。

しつじゆ

○友だちに対して仲間外れやむしをしたり、がげ口を言ったことがありますか。

●事前アンケートはグラフなどにし、教室内に掲示しておきます。

●グラフを見て気がついたことを簡単に交流しておく、本時の課題につながります。

「仲間外れ、無視、さげ口」をした経験、された経験がある小学生の割合は、9割以上です。
国立教育政策研究所
いじめ防止調査より
平成28年6月

いじめの未然防止のためには、児童が、いじめの問題を自分のこととしてとらえ、正意から向き合うことができれば、うかがい大きなポイントといえます。

「いじめ防止策のための基本的な方針」[平成26年文科科学大学審議会、平成29年最終改定]には、いじめ未然防止のための教育活動として、学級活動の重要性が示されています。

(2)イ よりよい人間関係の形成

つかむ

課題の把握

- アンケートをもとに、学級の状況を把握できるようにします。
- グラフなどから学習するこの意図に気付かせ、自分の課題を明確にできるよつこにします。
- 写真やビデオ映像なども資料として活用できます。

さぐる

原因の追求、必要性の実感

- 原因を明らかにして、解決に向けての方向性を話しとさせます。
- 改善の必要性を実感し、改善すべき点に気付かすようにします。

見つける

解決方法等の話し合い

- みんなで話し合い、問題をぶつけて個人目標の解決策へ向かっていけるようにしましょう。
- 書き交わしの紙の活用、資料となる自分の意見が効果的。
- 養育教諭や栄養教諭などと連携を図って指導を工夫します。

決める

個人目標の意思決定

- 強い気持ちをもって、他に頼らず、具体的な実践方法やめあてが決められるようになります。
- 自分の課題に沿って実現可能な自己評価できる内容にします。

私も、友だちにいやなことをされたことがあるな。

どんなことが原因でトラブルになるのかな。

どんな解決方法があるか、みんなで話し合おう。

私は、このめあてや方法でやってみよう。

1 つまむ

友だちを大切に

「仲間外れ」「むし」「がげ口」の経験

「カッどなつて」「いやなことされたので」「決まらなくて、友だちと遊びたいから」

2 さぐる

なにかよくする方法

「やさしい言、書をつかう」「お礼」が「がんばって」「心どして、もしも影響を受ける」「休み明け、友だちとさそって遊ぶ」「しよーと遊ぶ」

3 決める

これからがんばること

- 友だちに声をかけることが少なかったため、自分から友だちをさそって遊ぶ。
- こままっている友だちを見かけたら、声をかける。
- 一日5回いじょうやさい言葉で話しかける。
- 友だちのさげ口を言ったことがあるので、これからは、自分がされていやなことは人にはせたいにしない。

児童の問題意識を高めるために、資料等を活用します。

学習の流れが分かるように事前に板書計画を立てます。

生活を振り返り、原因を明らかにします。

話し合いにより、個々の考えを深めたり、広めたりします。

具体的な実践方法を一人一人が意思決定できるようにします。

事後の活動

実行する

決めたことの実践

がんばりカード 1枚
「家でも実行」

1 わたしの目標

毎日、友だちにもやさしいことばを5回以上かける。

2 行書をふりかえろう！

15日	16日	17日	18日	19日
○	○	○	○	○

振り返り

1 週間程度やってみて、実践状況を話し合う。

この1週間、自分の目標に向けて、とてもよくがんばることができた。

振り返りの会などでも実践を振り返りましょう。

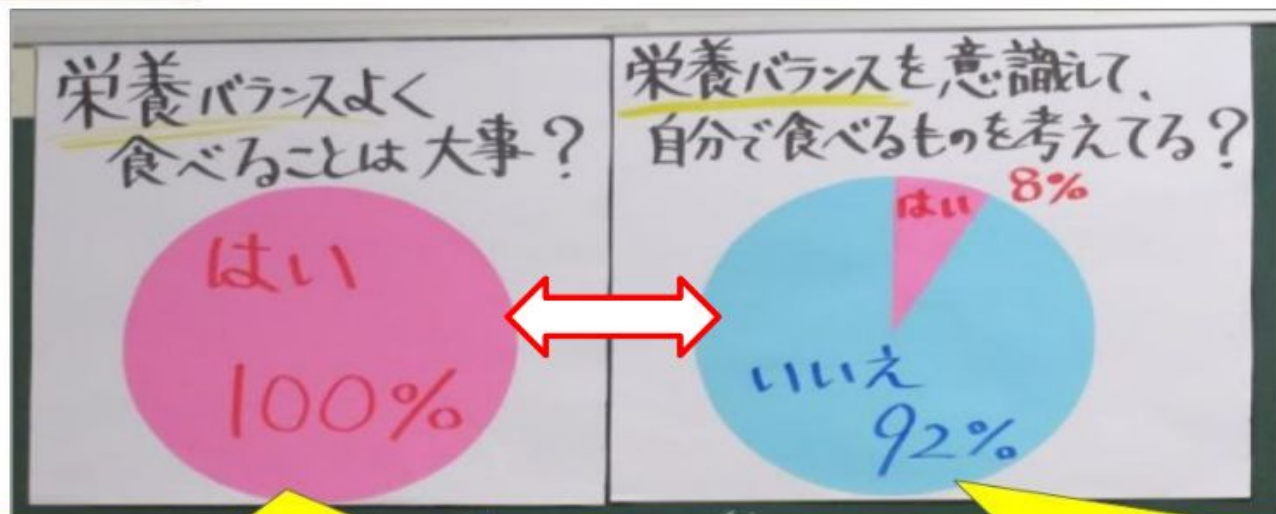
これからも、よりよい生活をつくっていく。

- 定期的に振り返りの時間を設け、実践意欲の継続化を図りましょう。
- 学年、学級だより等で家庭と連携し、日常生活での意識化を図りましょう。

次の課題解決へ

3. 授業実践について

つかむ アンケート結果から課題をつかむ



栄養バランスは大切!

わかっているけれど、意識できていない。

ギャップ

3. 授業実践について

さぐる

学校栄養職員の話聞いて、自分の食生活を振り返り、課題を付箋に記入する。



朝は時間がないから栄養も量も足りない

考えてみると、
野菜を食べることが少ない日もある

夜はたくさん食べるけど、朝は少ない

学級活動（２）指導の充実



学級活動(2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全

学級活動(2) についても**学級担任の教師による指導が原則**であるが、活動の内容によっては、**他の教師等の専門性を生かすと効果的である**場合も予想される。例えば、健康や安全、給食の問題、読書などを取り上げる場合、**養護教諭、栄養教諭、学校栄養職員、司書教諭**などの協力を得て指導に当たるようにすることは望ましい配慮である。

エ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成

学級担任との協力指導(T.Tによる指導)

- ◆学級児童の実態 → 学級担任
- ◆栄養に関する専門性 → 栄養教諭、学校栄養職員

3. 授業実践について

決める

話し合ったことを参考に、
自分にあつためあてを決める。

1. めあて

嫌いな食べ物の変わりになる物を
食べる。

↓

2. めあてを立てた理由

魚が苦手だから、**赤**で変わり
になる、牛乳や豆腐を食べる。

魚が苦手...
赤で変わりになる
「牛乳」や「豆腐」だ！

このめあてなら続けられそう！